

# 履修方法について(修士課程)

## T履修(テキスト履修)

指定されたテキストをもとに自宅で学習し、レポートによる試験を受け、合格後に科目最終試験を提出します。  
科目最終試験に合格すれば履修完了となり、年度末に修得単位として認定されます。

## S履修(スクーリング履修)

指定された日時に教員から直接授業を受けます。授業ごとに定められた履修形態(オンラインまたは対面)で受講時間(時間割)すべてに出席し、終了後に実施される試験に合格すれば履修完了となり、年度末に修得単位として認定されます。専攻によって日程や時間割、修得できる単位数が異なります。  
※対面スクーリングは本学紫野キャンパスにて実施します。

## T・S履修(テキスト・スクーリング履修)

T履修とS履修を併用する履修形態です。レポート、科目最終試験(在宅試験)、スクーリングすべてに合格しなければなりません。  
T履修とS履修は、どちらを先に履修してもかまいません。  
※臨床心理学専攻のみの履修です。

## ST履修(スクーリング・テキスト履修)

指定された日時に教員から直接授業を受けます。授業ごとに定められた履修形態(オンラインまたは対面)で受講時間(時間割)すべてに出席し、そこで指示された課題についてテキストなどで学習を深め、後日レポートを作成し、期限までに提出します。合格すれば、履修完了となり、年度末に修得単位として認定されます。

## G履修(修士論文・課題研究)

指導教員による個別指導と修士論文中間発表会や合同授業における複数教員による集団指導を受けながら論文を作成します。

## E履修(実習)

配属実習のことです。  
※臨床心理学専攻のみの履修です。

### テキスト履修のイメージ

#### テキストによる学習

テキストや参考文献を通して学習します。

学習支援システム「B-net」を利用してレポートによる試験の提出と、科目最終試験答案の提出を行います。

#### レポート作成・提出

テキスト履修(T)の科目はそれぞれ設題が設けられています。その設題に基づいて研究の成果をレポートにまとめます。レポートの字数は、2単位で6,400字となります。完成したレポートは毎月、所定の受付期間にB-netにて提出(レポートによる試験の受験)します。D評価は再提出が必要です。

#### 科目最終試験受験

全ての設題分のレポートが合格すれば科目最終試験を受験します。試験方法は論述試験です。1科目につき3,200字程度にまとめて提出(随時提出が可能)、評価を受けます。100点満点中60点以上が合格、59点以下は再受験となります。

#### 単位認定

所定の履修期限までに合格することで当該年度の履修完了科目となります(3月25日付単位認定)。科目の評価は、レポートによる試験と科目最終試験の点数の平均で行います。

### スクーリング履修のイメージ

#### 受講申込み

授業ごとの年間開講日程を確認し、自らの学習計画に合わせて受講する授業を選択、受講の申込みをします。

学習支援システム「B-net」を利用してスクーリングの受講申込み等を行います。

#### 事前学習

スクーリングを受講するまでに、担当教員から事前学習の指示があります。その指示にしたがって受講の準備(予習等)を行います。

#### スクーリング受講

授業ごとに定められた日程・受講時間に出席します。履修形態は科目毎に指定され、本学に登学する対面での受講もしくはZoomを利用したオンラインでの受講となります。また、専攻によっては学外での実地講義等も行われます。最終講時に筆記試験またはレポート試験を受け、100点満点中60点以上が合格、59点以下は再受講となります。

#### 単位認定

合格した科目は、当該年度の履修完了科目となります(3月25日付単位認定)。

## 〈参考〉スクーリング開講科目・日程一覧(2022年度)

2022年度のスクーリング履修科目(S履修・T・S履修・ST履修)の開講日程を参考に掲載します。開講時期や受講日数等の目安として参照してください。なお、2023年度の開講日程は未定です(休講の場合もあります)。入学後、補助教材等でご案内します(科目名の後の☆印はオンライン開講、その他は対面開講です。履修形態は年度により変更することがあります)。

### 仏教学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
仏教学研究基礎1	6月4日、5日	15日程度 受講が必要
仏教学研究基礎2	5月28日、29日	
仏教学研究基礎3	6月18日、19日	
法然教学演習1	8月4日、5日、6日	
法然教学演習2	10月2日、8日、9日	
浄土教学演習1	6月18日、19日、25日、26日	
浄土教学演習2 ☆	7月29日、30日、31日	
仏教学演習1	6月4日、5日、11日、12日	
仏教学演習2	7月29日、30日、31日	
仏教学演習3	8月1日、2日、3日	
仏教学演習4	8月4日、5日、6日	
仏教文化演習1	6月25日、26日、7月3日	
仏教文化演習2	10月15日、16日、23日	
仏教文化演習3	10月29日、30日、11月6日	
仏教文化演習4	8月1日、2日、3日	
仏教学特論1	9月1日、2日、3日	
仏教学特論2	9月5日、6日、7日、8日	

### 文学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
日本文学研究基礎 ☆	6月25日、26日	10日程度 受講が必要
日本文学演習1 ☆	10月2日、11月5日、6日	
日本文学演習2 ☆	7月23日、8月6日、7日	
日本文学演習3 ☆	5月29日、7月2日、3日	
日本文学演習4 ☆	10月1日、29日、30日	
日本語学演習 ☆	7月29日、30日	
書道研究 ☆	7月30日、31日	
漢学研究 ☆	8月3日、4日、5日	
日本文学研究 ☆	7月24日、8月13日、14日	
中国文学研究基礎	7月2日、3日	
中国文学演習1	8月10日、11日	
中国文学演習2	8月6日、7日	
中国文学演習3	8月8日、9日	
中国語学演習	8月5日、6日	
中国思想演習	7月29日、30日	
異文化接触研究(中国)	8月3日、4日	
中国文学研究	7月28日、29日	
英米文学研究基礎 ☆	7月2日、3日	
英米文学演習1 ☆	7月30日、31日	
英米文学演習2 ☆	8月1日、2日	
英語学演習1 ☆	8月1日、2日	
英語学演習2 ☆	8月3日、4日	
異文化接触研究(英米) ☆	7月30日、31日	
英米文学研究 ☆	8月4日、5日	

### 歴史学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
歴史学研究基礎1 ☆	5月28日、29日	10日程度 受講が必要
歴史学史料演習1 ☆	8月4日、5日、6日	
歴史学史料演習2 ☆	8月11日、12日、13日	
歴史学特殊研究3	9月1日、2日、3日、5日	
歴史文化資料演習1 ☆	8月1日、2日、3日	
歴史文化資料演習2 ☆	7月29日、30日、31日	
歴史文化特殊研究3 ☆	9月2日、3日、4日、5日	
歴史学フィールドワーク	10月8日、9日	
外国語文献研究 ☆	10月1日、2日	
歴史情報資源論 ☆	10月15日、16日	

### 生涯教育専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
教育人間学演習 ☆	10月2日、8日、9日	9日程度 受講が必要
比較教育学演習 ☆	5月3日、4日、5日	
教育制度学演習 ☆	8月4日、5日、6日	
教育方法学演習 ☆	8月8日、9日、10日	
仏教教育学演習	2022年度 休講	

### 臨床心理学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
臨床心理学特論1	5月28日	30日程度 受講が必要
臨床心理学特論2	11月5日	
臨床心理面接特論1	6月4日	
臨床心理面接特論2	11月6日	
臨床心理査定演習1	7月28日、29日、30日	
臨床心理査定演習2	8月8日、9日、10日	
臨床心理査定演習3	6月19日、25日、26日	
臨床心理査定演習4	8月1日、2日、3日	
臨床心理基礎実習1	8月1日~6日	
臨床心理基礎実習2	8月8日~13日	
臨床心理実習3	5月15日、6月19日、7月24日、9月11日、10月2日、11月6日、12月4日、1月22日	
心理実践演習(GSV)	10月2日、16日、11月6日、27日、12月4日、11日、1月22日、2月5日	
心理統計法特論	8月15日、16日、17日	
家族臨床心理学特論	10月8日、9日	
学校臨床心理学特論2	2022年度 休講	
心理療法特論1	8月4日、5日、6日	
心理療法特論2	2022年度 休講	
心の健康教育に関する理論と実践	6月11日、12日、18日	

### 社会学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
社会学理論研究 ☆	5月28日、29日	8日程度 受講が必要
社会学演習1(社会文化) ☆	7月2日、3日	
社会学演習2(社会情報) ☆	10月8日、9日	
社会学演習3(共生臨床) ☆	7月29日、30日	
社会学演習4(社会理論) ☆	6月25日、26日	
社会調査論 ☆	10月15日、16日	
ソーシャルマネジメント理論研究	6月4日、5日	
ソーシャルマネジメント演習1(環境) ☆	6月11日、12日	
ソーシャルマネジメント演習2(環境) ☆	6月18日、19日	
ソーシャルマネジメント演習3(地域)	8月1日、2日	
ソーシャルマネジメント演習4(地域) ☆	8月3日、4日	
地域公共政策論	2022年度 休講	
地域公共政策演習1		
地域公共政策演習2		
地域公共政策演習3		

### 社会福祉学専攻

科目名	日程	修了にかかるスクーリング受講日数(目安)
社会福祉学研究基礎 I ☆	5月28日、29日、6月4日、5日	16日程度 受講が必要
乳幼児保育特殊研究 ☆	7月2日、3日	
児童福祉特殊研究 ☆	8月9日、10日	
障害者福祉特殊研究 ☆	7月30日、31日	
高齢者福祉特殊研究 ☆	6月11日、12日	
精神保健福祉特殊研究 ☆	8月2日、3日	
医療福祉特殊研究 ☆	10月1日、2日	
地域福祉特殊研究 ☆	8月1日、2日	
現代社会福祉問題特殊研究 ☆	8月12日、13日	
乳幼児保育特殊演習 ☆	6月25日、26日	
児童福祉特殊演習 ☆	6月18日、19日	
障害者福祉特殊演習 ☆	7月29日、30日	
高齢者福祉特殊演習 ☆	10月15日、16日	
精神保健福祉特殊演習 ☆	8月4日、5日	
医療福祉特殊演習 ☆	10月8日、9日	
地域福祉特殊演習 ☆	10月29日、30日	
共生とケア I ☆	8月5日、6日	
共生とケア II ☆	8月8日、9日	
福祉の国際比較 ☆	8月11日、12日	

## 修士論文・課題研究作成のイメージ

研究から提出まで2か年をもって取り組みます。広い視野に立つ精深な学識と、その専攻分野において有する高度な研究能力を立証することが要求されます。なお、本学大学院では「修士論文」「課題研究」は単位化せず、所定の修了単位とは別に課します。

### 研究テーマの提出と指導教員の決定

所定の時期(入学手続き時に指示)に、各々の研究対象や課題に則して「研究テーマ」を作成し、提出します。提出された「研究テーマ」に基づき指導教員が決定します。

### 「研究計画書」の作成・提出

指導教員が決まると、その指導のもと、より具体的な「研究計画書」の作成にかかります。作成には、指導教員との面接指導のやり取りが重要となります。

学習支援システム「B-net」を利用して面接指導の申込みや「研究計画書」、「草稿」等の提出を行うことが可能です。

### 「研究計画書」に基づき個人研究

テキスト履修、スクーリング履修を通じて研究内容に沿った学習やその周辺領域の学習を重ね、専門性を高めていきます。スクーリングの受講は、他の学生同士の人的交流・情報交換の場として、学習意欲を高める絶好の機会となります。また、指導教員に面接指導を申し込むこともできます。研究が進むと、中間発表会等に参加し、研究成果の一部を発表する機会があります。ここでは各自の研究内容に対して、専攻の教員や他の学生から意見交換、質疑応答等を行います。周辺領域の分野から積極的な提案、提起を行うことは、在宅での研究に閉鎖的、孤立的、自己偏重になりがちな各個人の研究活動を、広い視野から見つめ直し、新たな方向性を発見したり、共同研究や学術論文への投稿につながる契機となることでしょう。



### 「草稿」の作成・提出

「研究計画書」に基づく個人研究が進み、論文題目登録を完了すると、「草稿」の作成にとりかかります。「草稿」は清書論文を想定した内容・分量となりますが、「草稿」を作成・提出→指導教員による添削・面接指導→「草稿」の再提出…といった過程を経ることで、質的に高い論文完成への下地となります。特に精度の高い論文を書き上げるためには、指導教員との面接指導が重要です。



### 「修士論文」作成・提出

「草稿」を提出し、「修士論文・課題研究」としての内容が認められ、かつ修了要件となる所定の単位を修得する見込みがある場合は、清書の許可が与えられます。「修士論文・課題研究」の分量は40,000字程度が基準となりますが、専攻ならびに指導教員の判断によりその内容が増減する場合もあります。また、論文と共に、補助資料並びに今後の当該論文の検索の便を図るために、1,000字程度の「論文要旨」の添付が義務付けられます。

### 口頭試問

「修士論文・課題研究」を所定の期日までに提出後、口頭試問を実施します。口頭試問での修士論文・課題研究の審査は、指導教員を含めた3名の審査員が行います。



## 学部聴講について

学部聴講とは、学習性向や教育課程の多様化のなかで、各専門分野の隣接領域の基礎科目等を履修することにより、専門分野研究の補完等を目的として設けている制度で、全専攻履修可能(臨床心理学専攻除く)です。

※基礎となる学部・学科が開講する共通教育科目・専門教育科目で論文指導教員が承認した科目に限ります。

※臨床心理学専攻は基礎となる学部が存在しないため本制度は適用できません。

※別途、登録費等が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。



## 通学課程開講科目の履修について

在籍する専攻と同じ通学課程の専攻で開講する科目を登録し履修することができる制度です。

通学課程大学院開講科目の履修が可能な専攻は、仏教学専攻・文学専攻・歴史学専攻・社会学専攻のみです。

※登録は、年間4単位を上限とし、修得した単位は、関連科目として6単位を上限に修了単位として算入することができます。

※各研究科・専攻で指定される科目に限ります。

※別途、登録費が必要となります。詳細は入学後『大学院のしおり』でご案内します。



# 入学から修了までの履修の流れ

修業年限 2 年の場合（臨床心理学専攻以外）

	テキスト履修	スクーリング履修	修士論文
	入学式・専攻別オリエンテーション		
1 年 目	4月		「研究テーマ」の提出（入学手続き時に指示） ↓ 指導教員の決定
	5月		↓ 指導教員の面接指導
	6月	スクーリングの準備・受講の申込み	↓
	7月	↓	個人研究の推進
	8月	スクーリングの受講	↓
	9月	↓	指導教員の面接指導
	10月	学習のまとめ・レポート提出等	↓
	11月		「研究計画書」の提出
	12月		↓
	1月		個人研究の推進
	2月		↓
	3月		中間発表会（日程は専攻により異なる） ↓
2 年 目	4月		↓ 指導教員の面接指導
	5月		↓
	6月	スクーリングの準備・受講の申込み	中間発表会（意見聴取・質疑応答）（日程は専攻により異なる） ↓
	7月	↓	指導教員の面接指導
	8月	スクーリングの受講	↓
	9月	↓	「草稿」の作成・提出
	10月	学習のまとめ・レポート提出等	↓
	11月		面接指導（「草稿」に基づき）
	12月		↓
	1月		「草稿」の再作成・再提出
	2月		↓
	3月		面接指導（「草稿」に基づき）
		↓	
		「草稿」の提出最終期限（12月15日） ↓	
		「修士論文」提出の許可判定／許可・作成着手（不許可の場合は研究継続を指示） ↓	
		「修士論文」の提出	
		審査員 3 名の審査	
		↓	
		口頭試問の実施	
		↓	
		修了判定	

レポートの提出は、毎月 1 日～7 日に行います。

スクーリングの開講日程は、各専攻によって異なり、また限られた時期に集中するので 2 か年でもれなく受講できるように学習計画を立ててください。

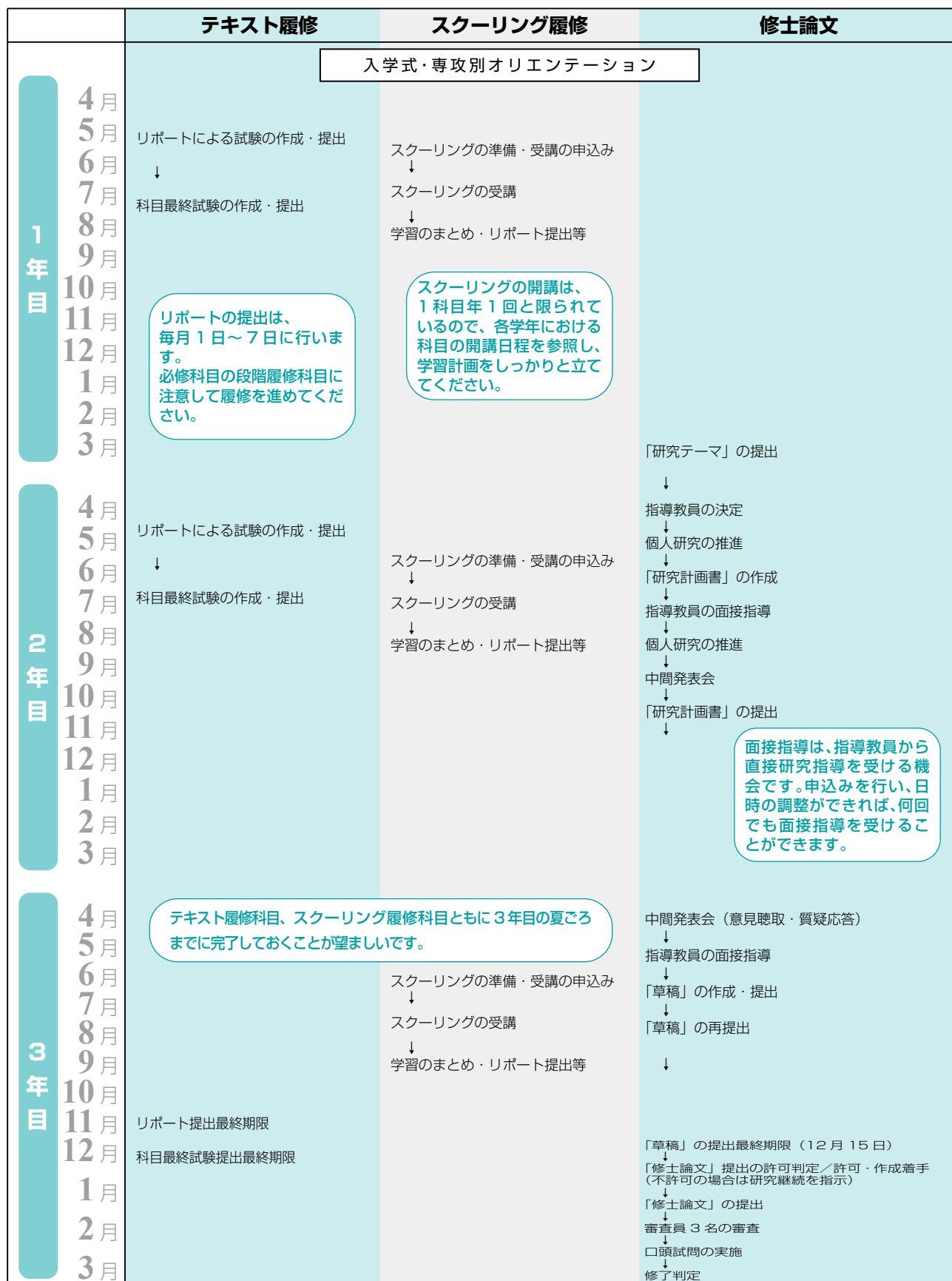
テキスト履修科目については、2 年目の夏ごろまでに完了しておくことが望ましいです。

「修士論文」作成の許可まで「草稿」に基づき面接指導を幾度も受けることになります。

課程の修了

所定の修業年限を満たし必要な単位を修得し、かつ口頭試問実施の上、論文審査に合格することで修了となり、修士の学位が授与されます。

修業年限 3 年の場合（臨床心理学専攻） ※配属実習系科目を除く



課程の修了

所定の修業年限を満たし必要な単位を修得し、かつ口頭試問実施の上、論文審査に合格することで修了となり、修士の学位が授与されます。

## 臨床心理学専攻(修士課程)の履修について

### 授業科目の履修について

- (1) 専攻科目は、必修科目10科目17単位を履修します。
- (2) 「臨床心理実習1」「臨床心理実習2」もしくは、「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」、「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」のいずれかから、2科目8単位以上を履修します。
- (3) 関連科目は、A群～E群の各群からそれぞれ2単位以上、合計10単位以上を選択履修します。
- (4) 前記(1)(2)(3)の要件を満たし合計30単位以上を修得することとなります。
- (5) 専攻科目の必修科目は段階履修です。したがって、1年次履修指定の必修科目「臨床心理学特論1」「臨床心理学特論2」「臨床心理面接特論1」「臨床心理面接特論2」「臨床心理査定演習1」「臨床心理査定演習2」の6科目12単位すべてを履修し合格しなければ、2年次履修指定の必修科目「臨床心理基礎実習1」「臨床心理基礎実習2」の2科目2単位を履修することはできません(修了時期が延期されます)。同様に、2年次履修指定の必修科目「臨床心理基礎実習1」「臨床心理基礎実習2」の2科目2単位すべてを履修し合格しなければ、3年次履修指定の必修科目「臨床心理実習1」「臨床心理実習2」「臨床心理実習(心理実践演習(医療))」「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」「臨床心理学研究指導演習」の5科目18単位を履修することはできません(修了時期が延期されます)。
- (6) 臨床心理士受験資格を得ようと希望する場合、関連科目の履修に際しては、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が指定する5領域からそれぞれ2単位以上を選択履修することが必要です。

### 修士論文の作成について

- (1) 1年次終了時に研究テーマを提出します。研究テーマは、「力動臨床心理学」、「行動臨床心理学」および「社会臨床心理学」のいずれかの領域から設定することになります。したがって、関連科目の選択においては、研究テーマを視野にいれて授業科目の履修計画を立ててください。
- (2) 提出された研究テーマにより、指導教員が決定し2年次から修士論文作成に向けた研究指導が開始されます。
- (3) 3年次には、2年次の研究指導に基づき修士論文作成の指導を引き続き受け、修士論文の仕上げをはかります。
- (4) 最終学年の12月15日までに、修士論文を完成し草稿を提出します。指導教員から清書許可が出れば、修士論文の清書にかかり、翌年1月末までに修士論文(40,000字程度)を提出します。ただし、修了要件を修得見込みでない場合は提出できません。
- (5) 提出した修士論文に対し、2月に口頭試問を実施します。審査は指導教員を含めた3名の審査員が行います。
- (6) 各学年で、修士論文中間発表会に出席しなければなりません。また指導教員の指導に基づき研究成果を発表します。
- (7) p.3「修士論文・課題研究作成のイメージ」およびp.5「入学から修了までの履修の流れ」も参照してください。

### 心理実践実習・臨床心理実習について

- (1) 病院・診療所などの医療関連機関(「臨床心理実習1または2」の場合は保健福祉関係機関での実習も可)において実習を実施します。「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」を履修する場合は、ケース担当を含む実習を計16回(週1日×16週)の実習を実施し、「臨床心理実習1または2」を履修する場合は、計15回(週1日×15週)の実習を実施します。

#### 「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」 「臨床心理実習1または2」

<実習時期> 3年次以降

<実習期間> 週1日×15週<sup>※1</sup>、週1日×16週<sup>※2</sup>

<実習場所> 医療関連機関

※1 臨床心理士受験資格のみを取得希望する場合

※2 臨床心理士受験資格とあわせて公認心理師国家試験受験資格を取得希望する場合

(2) 小学校・中学校・高等学校などの教育関連機関において実習を実施します。「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」を履修する場合は、ケース担当を含む実習を計16回(週1日×16週)の実習を実施し、「臨床心理実習1または2」を履修する場合は、計15回(週1日×15週)の実習を実施します。

### 「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」 「臨床心理実習1または2」

<実習時期> 3年次以降  
<実習期間> 週1日×15週<sup>※1</sup>、週1日×16週<sup>※2</sup>  
<実習場所> 教育関係機関  
※1 臨床心理士受験資格のみを取得希望する場合  
※2 臨床心理士受験資格とあわせて公認心理師国家試験受験資格を取得希望する場合

(3) 「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」、「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」、「臨床心理実習1または2」で担当している事例のカウンセリングやプレイセラピーまたはグループの実習内容について、授業担当教員のスーパーヴィジョンを受けます。スクーリング開講日程は、年度によって異なるので、授業担当教員の指導に従って受けることになります。

### 「臨床心理実習3」

<履修方法> スーパーヴィジョン(教員による面接指導)  
<履修時期> 3年次以降(年8日程度)

(4) 児童養護施設・障害者福祉施設などの福祉関連機関においてケース担当を含む実習を計16回(週1日×16週)実施します。

### 「心理実践実習(福祉)」

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者のみ

<実習時期> 2年次以降  
<実習期間> 週1日×16週  
<実習場所> 福祉関係機関

(5) 刑務所・少年鑑別所などの司法犯罪機関ならびに従業員支援プログラム(EAP)を行う事業所などの産業関連機関において見学を中心とした実習を6～7回程度にわたって実施します。また、見学実習とは別に実習機関ごとに事前事後指導を別途実施します。事前事後指導の日程は年度によって異なるので、授業担当教員の指導に従って受けることになります。なお、事前事後指導も実習時間に含まれますので出席は必要です。

### 「心理実践実習(犯罪・産業)」

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者のみ

<実習時期> 2年次以降  
<実習期間> 1日×6～7回程度  
<実習場所> 犯罪・産業関係機関

(6) 「心理実践実習(福祉)」、「心理実践実習(犯罪・産業)」で担当している事例のカウンセリングやプレイセラピーまたはグループの実習内容について、授業担当教員のスーパーヴィジョンを受けます。スクーリング開講日程は、年度によって異なるので、授業担当教員の指導に従って受けることになります。

### 「心理実践実習(GSV)」

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者のみ

<履修方法> スーパーヴィジョン(教員による面接指導)  
<履修時期> 2年次以降(年6日程度)

※臨床心理士受験資格希望者は、「臨床心理実習1」および「臨床心理実習2」の実習機関を各自で探し、実習開始予定前年の年末頃には受け入れの内諾を得てください。なお、実習機関の選定や日程の決定ならびに実習目的の明確化に関しては、担当教員および実習指導講師の事前指導を受けてください。実習機関内諾後は、臨床心理実習機関概要書を大学に提出し、提出された概要書を基に実習機関可否判定を行います。

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者は、1年次7月頃に実施するガイダンスに必ず参加し、ガイダンス後に本学所定の手続きに必要な書類を提出してください。提出された書類を基に心理実践実習実施の可否判定を行います。

※公認心理師国家試験受験資格取得希望者は、厚生労働省ホームページ等を参照の上、公認心理師法施行規則において定められている4年制大学における必要な科目を出身大学において履修済であるかを、出身大学に確認しておく必要があります。

※「臨床心理実習(心理実践実習(医療))」、「臨床心理実習(心理実践実習(教育))」、「心理実践実習(福祉)」、「心理実践実習(犯罪・産業)」については、大学が配属した実習機関ならびに実習期間で実施するため、個人的な理由による実習機関ならびに実習期間の変更は認められません。